

2016 年度創価大学教育ビジョン

2016 Vision on Education

“新入生へのメッセージ”

Messages to the Freshmen



創価大学ニュース

2016
Spring

SUN

Soka Univ. News



特集

春、新たなスタート!

From the 45th Anniversary
to the Next Stage!



創立50周年への本格的船出を！

創造的世界市民育成のシステムを構築



Profile

創価大学 学長 馬場 善久

1953年富山県生まれ。創価大学経済学部卒。カリフォルニア大学サンディエゴ校経済学研究科博士課程修了。Ph.D.取得。専門分野は計量経済学。創価大学経済学部講師、助教授を経て教授。1996年教務部長、2005年副学長、2013年創価大学学長。主な著書に、本多 佑三編「日本の景気—バブルそして平成不況の動学実証分析。(有斐閣、第5章、1995年)」など多数。

Soka University President Yoshihisa Baba

Born in Toyama Prefecture in 1953. Graduated from the Faculty of Economics, Soka University. Completed his Ph.D. in Economics at the University of California, San Diego as a specialist in econometrics. Served as lecturer, associate professor and subsequently professor at the Faculty of Economics, Soka University. Appointed Head of Educational Affairs in 1996, Vice President in 2005, and President in 2013. Literary works include Economy Outlook of Japan - A Dynamic Empirical Analysis of the Bubble Years and Subsequent Recession edited by Yuzo Honda (Yuhikaku, Chapter 5, 1995).

学長として、最初の任期3年を終え、再任をいただきました。新たな任期のスタートにあたり、創立50年(2020年)を迎えるための向こう3年、そして本年度を展望します。

2010年のグランドデザイン構想の発表後、本学が各項目で掲げた取り組みを着実に進める中、文部科学省のグローバル人材育成推進事業(2012年)、スーパーグローバル大学創成支援(2014年)など、グローバル化を推進するための国の補助金事業に採択されました。これは、我が国の高等教育における重点政策に対応し、グランドデザインで策定した国際化戦略(数値目標)の達成時期を早め、さらに拡大するという努力によるものでした。

昨年度、グランドデザインの前半(2009年～2014年)を総括し、本学をとりまく環境の変化も見据えながら、創立50周年を目指した計画をさらに強化する中期的な戦略を検討しました。そして、昨年11月18日に、2010年発表の「創価大学グランドデザイン」を発展させた「創価大学グランドデザイン2015—20」として新たな中期計画を発表しました。このグランドデザインの趣旨を一言で表現するならば、「創造的世界市民育成」のためのシステム構築へ向けたロードマップといえます。限りある資源を選択と集中によって、効果的に活用し、目標達成を目指す行程表でもあります。

この新たなグランドデザインを検討する際に、強く意識した課題としては、入試選抜制度を含む高大接続の問題がありました。中央教育審議会の答申(2014年12月)にある高等学校教育と大学教育、さらにそれを接続する大学入試を一体的に改革することによって、日本の教育を大きく転換しようという試みです。特に高校と大学をつなぐ大学入試制度のあり方が重要視されています。本学としても、この問題を意識し、

準備に当たることを、グランドデザインでも明確に謳いました。具体的には、いわゆるディプロマ、アドミッション、カリキュラムの3つのポリシーの見直しです。

ディプロマ・ポリシーに関しては、全学としては創価大学独自の人材像を明らかにすること、各学部のポリシーでは各学問領域のスタンダードとも言うべき到達目標をしっかりと踏まえて、創価大学の独自性を表現することを目指します。

アドミッション・ポリシーでは、本学の到達目標を実現していくための入試段階での知識ならびに汎用的能力を明示します。特に現在、入試検討委員会で進めている、思考力や主体性をどう測るべきかという観点を反映させていきます。

カリキュラム・ポリシーでは、ディプロマ・ポリシーで定めた到達目標を実現していくためのカリキュラム策定の意図が伝わる形で表現していくことを目指します。

創立50年を迎える2020年までには、全ての学部で新カリキュラムの検討が予定されていることから、まずは、3つのポリシーの見直しに着手し、目指すべき目標を明確にして、準備を開始します。

創価大学を構成する教・職・学のそれぞれが、ヴィジョンを共有し、自身の役割を強く意識することで、人材育成のシステムを構築したい。その意味での協働を創価大学の全構成員に呼びかけ、本年度の教育ヴィジョンといたします。

※教育ヴィジョンの詳細は本学ホームページに掲載しています。

<http://gdreport.soka.ac.jp/>

Getting Ready to Celebrate 50 Years!

Building a System to Educate Creative Global Citizens

2016年度教育ヴィジョン
2016 Vision on Education

I was recently given the honor of being reappointed as president after finishing my first three-year term. As this new term begins, I would like to share my vision for the coming year, and for the next three years as we approach our 50th anniversary in 2020.

Since announcing the concept of the Grand Design in 2010, we have continued to steadily advance various parts of that plan. That includes our being selected to take part in a number of nationally-funded programs designed to promote globalization, such as the Project for Promotion of Global Human Resource Development (selected in 2012) and the Top Global University Project (selected in 2014), both of which are run by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology. These efforts were in response to the enactment of a number of important national policies on education, and were designed to allow quicker achievement of the numerical targets in our Grand Design internationalization strategy and to expand our goals.

Last year, in the approach to our 50th anniversary, we reviewed the results from the first half of the Grand Design (2009-2014), and came up with a fortified mid-term strategy that carefully considers the changing environment in which the university finds itself. On November 18th 2015, we released our new mid-term plan – the Soka University Grand Design 2015—20 – which developed out of the original Grand Design announced in 2010. Our new Grand Design can be simply described as a road map towards building a system for the education of creative global citizens. It also serves as a progress chart delineating our achievement targets and showing us how to effectively use our limited resources through careful selection and centralization.

When reviewing this new Grand Design, we were very aware of the issues surrounding the admissions system and other factors affecting students moving from high school into universities. In December 2014, the Central Council for Education recommended that a complete overhaul of the high school and university educational systems – including the university admissions testing system – should

lead to a great transformation in Japanese education. The university admissions examination – the bridge between high school and university in Japan – was seen as being particularly important. We at Soka University are conscious of the issues we face, and our Grand Design clearly lays out the preparations we are engaged in. In concrete terms, we are reviewing three policies regarding diplomas, admissions, and the curriculum.

Our Diploma Policy involves the university as a whole clarifying the unique Soka ideal for human resource development, while policies in each faculty and department will be determined through a deep understanding of the achievement objectives in each field – i.e. the standards students are expected to live up to. All of this will help communicate what makes Soka University unique.

Our Admissions Policy clearly specifies the admissions test knowledge and versatility students will require in order to attain the university's achievement objectives. The Admissions Review Committee is currently looking into ways to measure thinking ability and independence, and I would particularly like to see that perspective reflected in the admissions process.

Our aim with the Curriculum Policy is to ensure that the intent to realize the achievement objectives laid out in the Diploma Policy is clearly communicated through our curricula.

Reviews of the new curricula for all faculties and departments are scheduled to take place by 2020, the year we celebrate our 50th anniversary. Our first steps will involve re-examining the three policies above, clearly laying out our objectives, and beginning preparations.

Our goal is to build a system for human resources development that ensures faculty, staff and students all share the same vision, and ensures that they are all strongly aware of the roles each must play. I ask everyone at Soka to work together with that in mind and help achieve our vision for the coming year.

1 教育戦略

- (1) 教育のグローバル化の一層の促進
- (2) 「世界市民科目群」新設を柱とした共通科目カリキュラムの検討開始
- (3) 大学教育再生加速プログラム(AP)事業の成果を各学部カリキュラムに反映
- (4) 学習ポートフォリオの利用促進

2 教員の研究・教育活動

- (1) 総合的な研究支援サポートの体制の整備・強化に向けて
- (2) 競争的資金の獲得に向けて
- (3) 研究不正行為防止への取り組み
- (4) 研究業績評価によるインセンティブの付与

3 学生支援

- (1) 奨学金制度の拡充
- (2) 学生寮のさらなる充実
- (3) 学内アルバイト支援の充実
- (4) 地方Uターン希望者への進路・就職活動支援
- (5) 留学生へのキャリアサポートの強化
- (6) 「課外活動ガイドライン」の浸透
- (7) 学生生活のさらなる充実

4 スーパーグローバル大学の取り組み

- (1) グローバル・モビリティ: 学生の海外派遣・受け入れの拡大を通じたキャンパスのグローバル化
- (2) グローバル・ラーニング: 「創造的世界市民」を育成する学部教育プログラムのグローバル化
- (3) グローバル・アドミニストレーション: 大学の運営体制・決定手続のグローバル化
- (4) グローバル・コア: 人間教育の世界的拠点の形成

5 通信教育部の取り組み

通信教育部開設40周年記念事業

Welcome to Soka University!

短大学長、学部長から“新入生へのメッセージ”

Messages to the Freshmen



経済学部 学部長
勘坂 純市 教授 Prof. Junichi Kanzaka

**世界規模の社会、
その多分野において貢献できる力を蓄える**

グローバル化が進む社会において「経済学」の知識は重要です。英語力も不可欠な時代になりました。経済学部は「社会で即戦力となる就業力」「ビジネスに生かせる英語力」を向上させたい方に、最も適した学部です。英語で経済学を学ぶIP(インターナショナルプログラム)に加え、本年4月からはアメリカの大学とのダブル・ディグリーコースや全ての専門科目を英語で学ぶSUCCEEDプログラムも本格的にスタートします。FEEL(経済学部教育ラウンジ)では、いつでも先輩が相談のります。皆さんの夢の実現を全力で応援します!

●好きな言葉:「労苦と使命の中のみ人生の価値は生まれる」



経営学部 学部長
栗山 直樹 教授 Prof. Naoki Kuriyama

**グローバルとローカルを結び
社会貢献する人材を!**

経営学部では、組織の資源であるヒト、モノ、カネ、情報をマネジメントできる人材を育成します。仕事力を養成すると共に、グローバルな視野に立つためのビジネス英語力とリーダーシップ、そして徹底したアクティブラーニングにより、自分で考え行動する問題解決能力を身に付け、グローバルとローカルを結ぶ人材を目指します。また本年4月から、世界の名門ビジネススクールで学べる留学プログラムがスタート。法学部との連携授業など、「総合科学」と呼ばれる経営学の面白さを体験できる授業も豊富です。価値創造と人間主義の学びを本学部で是非!

●好きな言葉:「深きに就くは丈夫の心なり」



法学部 学部長
須藤 悦安 教授 Prof. Yoshiyasu Sudo

**人々の幸福と社会の発展のために
活躍できる逸材に!**

法学部では、創立者の示された建学の精神に基づき「健全なリーガルマインドを身に付けた平和実現のためにたゆまず努力を続ける、新たな法文化創造の担い手」を育成します。具体的には、法曹、ビジネスパーソン、公務員、外交官など、国内外の様々な分野で人々の幸福と社会の発展のために活躍していきけるスピリットとスキルを持った人材養成が目的です。海外大学とのダブル・ディグリーコースなど英語力と専門力を身に付けられる留学制度や、キャリアコース制による教育プログラムの他、実務家によるワークショップも設けられています。

●好きな言葉:「青は藍より出でて藍より青し」



文学部 学部長
浅山 龍一 教授 Prof. Ryuichi Asayama

**社会で求められる語学力と共に
豊かな教養を培おう**

文学部の指針は「生命の尊厳の探究者たれ!」「人類を結ぶ世界市民たれ!」「人間主義の勝利の指導者たれ!」です。互いの可能性を尊重し、異文化を理解し、自他の幸福を願える人間主義者になることが目標です。それには「人間とは何か」を学び、自分らしさ(専門性)と共に、教養を活かせる「創造的人間」になること。TOEIC 高得点者の輩出の他、私立大学の常に上位をキープする社会福祉士国家試験の合格率を支える様々なプログラムがあります。語学力と共に広い教養を持ち、個性豊かで他者を思いやる人間を輩出します。

●好きな言葉:「天は自ら助くる者を助く」



創価女子短期大学
学長 石川 恵子 Prof. Keiko Ishikawa

**「誉れの青春」の誇りを胸に、
 世界に貢献しゆく女性に**

創立者が示された建学の指針「知性と福德ゆたかな女性」「自己の信条をもち人間共和をめざす女性」「社会性と国際性に富む女性」を体現し、深い教養ある聡明な女性リーダーの育成を目指しています。生命を慈しみ、平和を

愛する人として、勇気を持って社会に世界に貢献しゆく女性たちを輩出しています。

一年次前期の「基礎ゼミナール」をはじめ、少人数単位で、教員職員が皆さんの未来に向けた学びをサポートします。アメリカ創価大学への短期留学や楽しく世界を知る英語科目、PCやタブレット端末を駆使したICT教育、短大ならではの女性のためのキャリア教育、実務能力を磨くビジネス科目等々多彩なプログラムを提供しています。また、英語、ビジネス分野の資格取得のための土曜講座も充実しています。短大2年という歳月には、「人生を変え、社会を変え、世界を変えゆく無限の力がある」ことを実感してください！



教育学部 学部長
鈴木 将史 教授 Prof. Masashi Suzuki

**子供たちの成長のために
 力を尽くす教育者に！**

一人の人間が持っている可能性を最大限に引き出すのが創価の「人間教育」。牧口常三郎先生が提唱された「創価教育」を源流に、子供たちの成長のために力を尽くす実践活動に喜びを見出す教育者こそ、教育学部が目指す人材像です。そうした人材は学校教育の枠内にとどまらず、社会のあらゆる分野で広く活躍し、またグローバルな視点で世界の教育の発展にも貢献できます。昨年度から新たに特別支援学校教諭免許も取得可能になり、本年度からは小学校での英語教育法の授業も本格的に始動。「さあスタート！」との清新な息吹で大いに学びましょう！

●好きな言葉:「物質にも自然現象にも感情にも左右されない、永遠の真実は、目に見えないのだ」



理工学部 学部長
畠見 達夫 教授 Prof. Tatsuo Unemi

**サイエンスとテクノロジーを人類の
 真の平和と発展に役立てる偉材に**

「建学の精神に基づき『創造的人間』を育成する」という大学としての大目標を実現すべく、サイエンスとテクノロジーを人類の真の平和と発展に役立てることを教育の目標としています。人間教育に基づく創価コアプログラムを1、2年次に履修し、語学力や人文科学・社会科学などの他分野の知識、社会問題の多角的認識の修得を義務付けています。大学院生が実習・実験をサポートするTA(ティーチング・アシスタント)制度を実施。また、グループで与えられた課題に取り組み、協力して解決策を見出します。中学・高校の数学・情報・理科の教員採用試験を目指す人も応援しています。

●好きな言葉:「如実知見」



看護学部 学部長
中泉 明彦 教授 Prof. Akihiko Nakaizumi

**人間力・看護実践力・グローバルマインド
 がキーワード**

看護師は、看護にかかわる専門的知識や技術と並んで、人間性・倫理観・使命感が求められます。「創価コアプログラム」を通じ「論理系・伝達系・意欲系能力」をバランスよく身に付け、また、高いレベルでの到達度を実現するカリキュラムにより、先進医療から在宅看護までの幅広い現場で対応できる確かな「看護実践力」を養います。そして、海外研修や招聘教員による授業などを通じて、グローバルマインドに溢れた看護師を育成しています。患者さんの気持ちを理解し、人間的魅力に満ちた看護師を目指して、共に医療と人間学を学んでいきましょう！

●好きな言葉:「生きる力を引き出す励ましの心光る看護」



国際教養学部 学部長
高橋 一郎 教授 Prof. Ichiro Takahashi

**国際性×学際性×実践力を身に付け、
 世界と交渉できる力を習得**

国際教養学部は、グローバル化する国際社会で活躍する優秀な人材を輩出することを目指しています。変化が激しい時代だからこそ普遍的に通用する深い教養、実践的な英語力、課題設定力、問題解決能力、柔軟なコミュニケーション力を兼ね備えた人材を育てます。多国籍の教授陣によるグローバル・スタンダードの授業やオール・イングリッシュの少人数教育、世界5大学への留学、海外短期研修プログラム、ゼミを軸とした専門性の追求などを網羅したプログラム。粘り強い挑戦を繰り返しグローバル・スタンダードの実力を着実に培ってください。

●好きな言葉:「学は光」「今に生きる」「ありがとう」

「Don't worry, be happy.」

2015年度卒業生の進路紹介

To the Next Stage!

本年3月に創価大学から世界や地域へ羽ばたいた皆さん。
これからの目標と大事にしてきた言葉を語っていただきました。



パナソニック株式会社

小松 明美

Akemi Komatsu (東京都出身)
経営学部経営学科

大学時代は学部の勉強に加え、英語研究会の活動やビジネスコンテスト、フィリピン、シンガポールへの留学に挑戦してきました。今後は創大の金看板を背負い、仕事を通じて途上国の豊かな暮らし実現に貢献します。大事にしている言葉は「苦難こそ成長の好機」。



YKK株式会社

上瀧 創一

Soichi Jotaki (富山県出身)
経済学部経済学科

寮生活、学内行事の実行委員、クラブ活動、留学など、多くの人と縁を結ぶことができた大学生活でした。この経験を活かし、社会でも目の前の一人との縁を大切にします。座右の銘は、ネルソン・マンデラの「勇気とは、恐れがないことではなく、恐れに打ち勝つことだ」。



全日本空輸株式会社

西田 有紀

Yuki Nishida (東京都出身)
文学部人間学科

2年間の北京留学で、中国だけでなく世界中の留学生と交流し、日本と世界をつなぐ仕事がしたいと思うように。座右の銘である「自分に負けない人が本当の勝利者である」を胸に、目の前の一人を大切に、職場の方やお客様から信頼される客室乗務員になります。



株式会社大林組

三代 健人

Kento Mishiro (大分県出身)
経営学部経営学科

3年間の留学生寮での寮生活とオーストラリア留学を経て、語学力だけではなくグローバルな感覚を身に付けました。座右の銘は「今やらずして戦う時はなし 今の戦いが後日の幾百倍の価値があることを知れ」。後輩の道を拓きます！



毎日新聞社

山口 桂子

Keiko Yamaguchi (熊本県出身)
経済学部経済学科

部活動と2つのアルバイトに追われた大学の4年間。絶対に負けないと歯を食いしばって人間主義の女性ジャーナリストとしての夢を追いました。人々のために奔走する記者になります！大事にしている言葉は「貴女よ、言論の英雄たれ！」です。

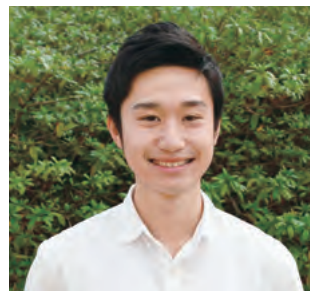


日本アイ・ビー・エム株式会社

金田 大樹

Daiki Kaneda (東京都出身)
工学部情報システム工学科

多様性の中でこそ自らを磨けると考え、勉強・アルバイト・インターンシップに積極的に挑戦し、世間に対する広い視野を持ち続けてきました。“人工知能に創り出せない価値”を目指し、社会の最先端に立ち続けます。大事にしている言葉は、「青は藍より出でて藍より青し」。



EYアドバイザリー株式会社

中山 雅一

Masakazu Nakayama (東京都出身)
法学部法律学科

「人間としての成長に近道はない」との創立者の言葉の通り、病気や怪我、留学、進路など、悩み抜いたことに一つも無駄がなかったと思える学生時代でした。卒業後は経営コンサルタントとして誠実に職務に取り組み、信頼を勝ち取ることで後輩の道を拓いてまいります。



外資系証券会社

岩城 貴子

Takako Iwaki (大阪府出身)
経済学部経済学科

途上国の開発にかかわりたいとの思いから、フィリピン研修、米国留学、国際機関のインターンシップ等に挑戦。最も苦しむ人が自己実現できる社会を目指して、世界の女性リーダーとして、創価大学で培った力を発揮していきます。座右の銘は、「戦いにおいては獅子のごとく勇敢であれ」。

Career Choices for 2015 Graduates

These Soka graduates just took their first steps to the world.

Here are their goals and important words for them.



外務省 (中国語専門官)

川畑 暁絵

Akie Kawabata (埼玉県出身)
法学部法律学科

大学1、2年次は、GCPで英語力や論理的思考力を鍛え、3年次から外交官試験に向け黙々と勉強を重ねました。一流の中国語専門官として、深い信頼関係を築いていけるよう、今後一層の努力を重ねてまいります。座右の銘は、「生きるということ、向上することである」。

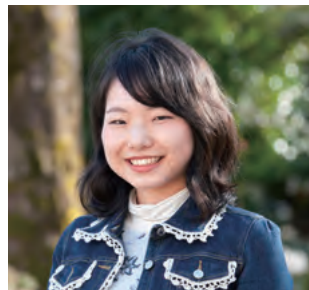


東京都庁職員

桜尾 正之

Masayuki Sakurao (広島県出身)
法学部法律学科

公共政策の授業を通じて、思考の道筋を鍛えました。先輩、同期を含め多くの方々の支えのおかげで、希望通りの進路を決めることができました。人々が将来にわたって安心して暮らせる都市作りに貢献していきます！座右の銘は、「心こそ大切なれ」です。



島根県庁職員

原 祐里佳

Yurika Hara (島根県出身)
文学部人間学科

興味を持ったなら何でもやってみようと、勉強や部活動、海外研修など、一つひとつ真剣に挑戦してきました。今後も、日々学びの姿勢を忘れず、創大生としての自覚を持って、仕事に取り組んでまいります。座右の銘は、「外柔内剛、千射万箭」。



新潟県小学校教諭

佐藤 真衣香

Maika Sato (新潟県出身)
教育学部児童教育学科

学部の授業、クラブ活動、ゼミの研究、塾講師等を通して、「教育とは」を考え、実践し抜いた4年間でした。これからも子供の幸福のため、徹して学び続け、縁する子供たちに、たくさんの愛情を注いでいきます。座右の銘は、「一番苦労した人が一番幸せになる」です。



千葉県公立中学校社会科教員

中村 光生

Mitsuo Nakamura (千葉県出身)
教育学部教育学科

大学で挑戦したのはクラブ活動でした。部活動を通して「何のため」を常に考えていくことの重要性を実感し、その経験が教員採用試験にも活かされました。卒業後は、創価の人間主義の哲学を体現する教育者になります。座右の銘は、「負けじ魂」！



国立筑波大学大学院 (教育学専攻)

平岡 秀美

Hidemi Hiraoka (東京都出身)
教育学部教育学科

教員免許の同時取得においては、特待生制度や多くの先生方のご指導のおかげで、院試や卒業研究ならびにドイツ語の勉強等との両立も叶いました。進学後は、ドイツの道徳・価値教育に関する領域の研究を予定しています。大事にしている言葉は、「水の流れるような学び」。



ソフトバンク株式会社

青木 秀伸

Hidenobu Aoki (神奈川県出身)
工学研究科情報システム工学専攻

国際性と専門性を磨くため、アメリカ留学と研究に挑戦。通信ネットワーク分野の研究で4度の海外発表を経験し、3度の最優秀論文賞を受賞。国際論文誌に掲載されました。座右の銘である「目標がその日その日を支配する」を胸に、IT技術者として世界で活躍します！



大手建設会社

中村 あかり

Akari Nakamura (東京都出身)
創価女子短期大学 現代ビジネス学科

短大生活の2年間は学費と生活費を稼ぐためのアルバイトと、大好きな勉強の両立に励みました。短大卒業生のように私も社会で活躍し、皆に勇気を与えられる存在になれるよう努力します。大事にしている言葉は「冬は必ず春となる」です。

To the Next Stage!

今春卒業した先輩たちから 新入生へ贈るエール

創大での4年間を謳歌した先輩たちから、リアルなアドバイスと真心のエールが届きました!!



創大には、あなたを信じて見守って くれる人がたくさんいます!

創大に入学して、希望に胸膨らませている皆さん。おめでとうございます。これからは、創大生としての自覚を持って、全ての活動に取り組んでください。

私が1、2年生のときは、いろいろな壁にぶつかり苦しい毎日でした。でも、ワールドランゲージセンターの留学相談室やイングリッシュフォーラムの先輩たちのアドバイスを受けて留学を目指すうちに自信を取り戻し、力が湧いてきました。イングリッシュフォーラムは、毎日のように利用しました。ここで、国際人として世界で活躍するというイメージが、実際に外国人の友人と話す中で明確になりました。また経済学部生には、FEEL(経済学部教育ラウンジ)が本当にお勧めです。勉強から学生生活のあらゆる相談にのってくれます!

ブライスウォーターハウスコーパース株式会社
岸 香織さん
経済学部経済学科

クラブ活動を通して培ったものは、コミュニケーション力、組織の中で自分の役割を考えて自主的に行動する力、1つのことをやり切ったという自信です。後輩の皆さんも、何か1つでもやり切ったと言える大学生活にしてください!

ホテル業界
吉川 桜子さん
法学部法律学科

読書や勉強は、空きコマや寝前の時間など、時間の有効活用を意識し、1日最低6時間以上勉強していました。また、毎授業最前列で聴く、3倍集中、疑問点はその日のうちに解決することを実行しました。創価大学にしかない環境、人を最大限に活かしつつ、後悔しない創大生活を送ってください!

出版業界
美村 由香さん
文学部人間学科

やりきったと言える4年間に!と決意したきっかけは、寮の仲間との語りでした。創大には志を高く持った人が多くいます。夢を語り合い、たくさん刺激を受けてください!

空調設備業界
高山 大希さん
文学部人間学科

ぜひ留学に挑戦してください!留学することで、今まで気づかなかった課題に気づけたり、新たな視点で物事を考えるようになったりと、視野が広がります。それによって、自分の将来の可能性も広がり、より一層充実した人生選択ができると思います。時間を存分に使い、いろいろな事に果敢に挑戦し抜いてください。

IT業界
高木 晋一さん
経済学部経済学科

週4日のクラブ活動と勉学の両立に悩む日々でしたが、通学の間時間や部活後に図書館へ通うことで勉強時間を確保したり、辛いときは“何のために”両立するのかを思い出したりして、自身を鼓舞してきました。創大には多くの支えと夢を叶える環境が整っていますので頑張ってください!

コンサルティング業界
五十嵐 未来さん
経済学部経済学科

寮生活で得られる一番良いことは、宝の友ができることです。同じ釜の飯を食べ、風呂に入り、夜な夜な未来を語る。寮にはドラマが溢れています。ダイヤモンドはダイヤモンドでしか磨けない。人も多くの人とかかわりながら、価値観や夢を共有することによって、さらに深みが出て自分自身が広がると思います。

IT業界
三好 正英さん
工学部情報システム工学科

New graduates call out to the newest entrants.

Providing some real, heartfelt advice on how to enjoy four years of study at Soka University.

「THEクラブ人間」だった私は、学生生活の大半をクラブに捧げていました。副部長も経験しましたが、夢を見つけるためのアクションも怠らず挑戦したことで、現在の進路につながったと確信しています。一度の学生生活、大切に過ごしてください。

小売業界
大川 清美さん
文学部人間学科

10社でのインターンシップの経験を通し、ビジネスの難しさと専門性の必要性を痛感したことが金融業界を目指すきっかけとなりました。創大は努力次第で何にでもなれる大学です!夢へつながる一步を踏み出してください!

金融業界
和田 宏明さん
経営学部経営学科

クラブ活動を通して、体力向上だけでなく言葉遣いや妥協しない心を学びました。週6日の練習や試合を通して、人間的にも成長することができました。仲間と共に励んだ日々は、大きな自信となっています。“やってみよう”と思ったら、とことんやってみましょう!

金属製品製造業界
高平 光明さん
法学部法律学科

留学は人生の分岐点です。行くか行かないかで180度人生観が変化します。日本は皆さんが思っている以上に小さな国で、同じような価値観を皆持っています。20歳前後で、世界を見ることで得た衝撃や感動、憤り、全てかけがえのない人生の財産になります。思いつき夢を描き、存分に挑戦し切る4年間にしてください!

外資系金融業界
有本 昌美さん
法学部法律学科

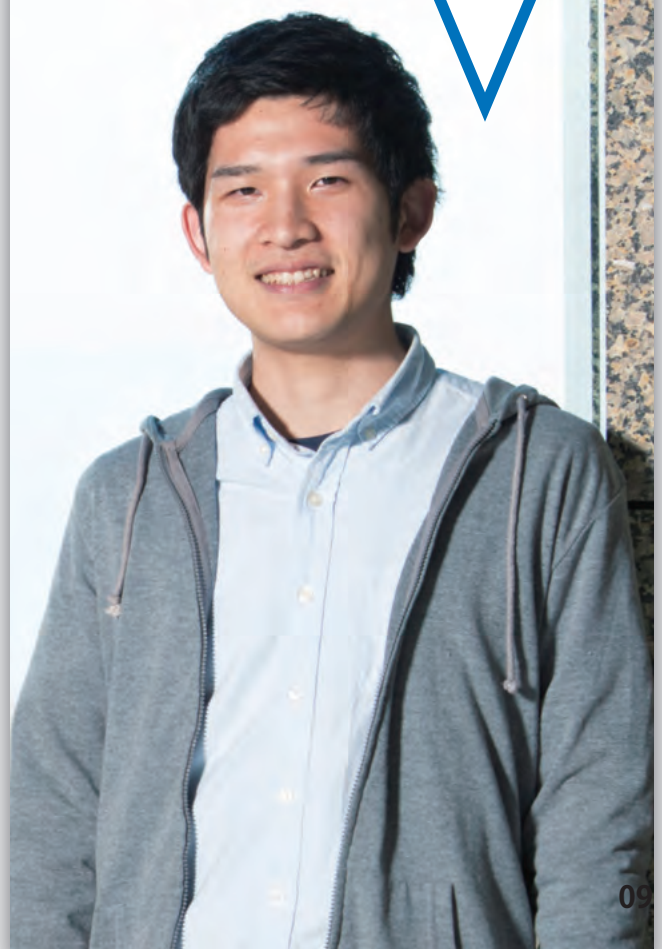
3年生の夏にインターンシップに参加しました。参加したことで、企業での自身の将来のビジョンを描きやすくなり、成し遂げたい夢を見つけることができました。インターンシップの経験から、企業間のつながりや、関係性を知り、客観的に企業を見ることができるようになりました。無駄な経験はありません!何事も“まずはやってみよう!”精神で挑戦していきましょう!

事務機器製造業界
野木 幸代さん
経営学部経営学科

創大にはたくさんのチャンスがある。 それを活かすのはあなたです!

創大生として一步を踏み出した皆さん、おめでとうございます!でも、ちょっと不安も感じているのでは?私も入学したときは福井県から東京に来て、不安ばかりでした。それを大きく包み込んでくれたのが学生寮の先輩でした。東京での生活の仕方から履修やサークルなど、何でも相談して、その中から自分で進む方向を決めていくことができました。2年次には、私も寮に残り、大学祭の実行委員などを経験しました。また、入学当時はTOEICが295点だった私が800点を超えるまでになったのは、チッチャットクラブやグローバルビレッジなど、自分の目標やレベルに合わせて選べる、創大の様々な英語プログラムのお陰です。創大のキャンパスには何でも揃っているし本当に広いので、なかなか把握できないかも。まずは、先輩に聞くのが一番の早道。聞いたことの何倍も答えが返ってきますよ!

京セラドキュメントソリューションズ株式会社
鈴木 英二さん
経営学部経営学科



在学生も新たなスタート!

大学日本一、 そしてドラフトへ。 勝負の年がスタートします!

大きな期待と共に、多くの熱い視線が注がれる田中正義投手。
2016年春、いよいよ大きな一歩を踏み出します。



田中 正義さん Seigi Tanaka 経営学部経営学科4年

野手から投手へと再転向したのは、大学入学後。投手として期待されたわけでも、自信があったわけでもない再挑戦。同期のチームメイトの活躍を尻目に、フォームや体作りに黙々と取り組んだ大学1年生。“もう自分はダメなのかもしれない”という不安と、“もう一度あのマウンドに立ちたい”との決意に揺れ動きながら、満を持して迎えたのが1年生秋の新人戦。そこでこのピッチングが高評価を得て、ついに2年生春に新東京大学リーグで150km/hを超えるスピードボールで華やかにデビュー。昨年(2015年)6月には、ユニバーシアード競技大会(国際大会)を前に大学日本代表としてプロの若手で構成された選抜チームと対戦。2万人の観客を前に4回を投げて7者連続を含む8奪三振。戦績も昨年は12勝無敗で、秋は46イニングを投げて防御率0.00を達成しました。止まらない快進撃に、1月9日のチームの練習始めには50人ものマスコミが詰め掛けました。“田中正義のドラフトイヤー”が始まったと、マスコミ報道が盛んにされる中、エースとして主将として、“大学日本一”に向けて始動。“強くなるためなら何でもする”“大事な試合は全部自分が投げて勝つ”との決意みなぎる姿に、チームの士気は高まります。4月4日、いよいよ春のリーグ戦が開幕します。新入生はもちろん、多くの創大生が決意新たにスタートを切るこの時、悲願達成に向け、田中投手も創大生活最後、勝負の年のスタートを切ります。

田中投手のインタビュー
動画は下の二次元コードから!
「創大動画チャンネル」または創大公式
YouTube (sokaunivmovie) で
視聴できます。



平成28年度 春季リーグ戦日程表

月日	球場	第一試合	第二試合	第三試合
4/4 (月)	県営大宮	vs杏林大		
4/5 (火)	県営大宮		vs杏林大	
4/23 (土)	岩槻	vs共栄大		
4/24 (日)	岩槻		vs共栄大	
4/30 (土)	岩槻	vs東京国際大		
5/1 (日)	岩槻			vs東京国際大
5/7 (土)	龍ヶ崎	vs高千穂大		
5/8 (日)	龍ヶ崎		vs高千穂大	
5/20 (金)	大田	vs流通経済大		
5/21 (土)	大田		vs流通経済大	

※試合時間:1日2試合の場合 第1試合10:30 第2試合13:30
1日3試合の場合 第1試合9:00 第2試合12:00 第3試合15:00

看護学部1期生が 卒業後の進路に向けて スタートです!

在学生も新たなスタート!

今春、4年生になった1期生。実習、卒論、国家試験、そして卒業後の進路決定と、重要な課題に取り組みます。



中川 未沙さん Misa Nakagawa 看護学部看護学科4年

患者さんの生きる力を引き出す 看護師を目指します

新しい校舎と充実した設備。入学したときの感動は今も忘れられないと中川さんは語ります。「勉強は大変でしたが、病院での実習中に患者さんが日に日に回復していくのを見て喜びを感じました。同時に、一つひとつのケアをなぜするのか、根拠がわかっていないとダメだということを痛感し、もっともっと勉強しなければ」と。大学生活の集大成として卒論や看護師国家試験もあり、今年度は大忙しになりそうです。看護学部の指針である“生きる力を引き出す励ましの心光る看護”ができる看護師になることが目標と、未来を見据えています。



山口 一敏さん Kazutoshi Yamaguchi 看護学部看護学科4年

僕らが学部の評価を作るのだと思うと 気が引き締まります

1期生83人中、男子学生は9人という看護学科4年生。「僕の場合、家族が入院していた病院でキビキビと働く男性看護師がかっこよくて、自分も病気の人を支える仕事に就きたい!と思って看護の道を志しました」と語る山口さんは、1期生への期待の大きさを感ずると言います。「でも、むしろ学部の評価は自分たちが作るのだという気概を持って勉強や実習に力を注いでいます。特に、体のしくみや病気について学ぶ基礎分野の科目は重要。後輩たちにもそれを伝えたい」。看護師国家試験は来年2月で、発表は3月末。最後まで気を抜かず頑張りますと、笑顔で決意を語ります。

理工学部戸田教授のマレーシアでのプロジェクトが本格スタート！

Professor Tatsuki Toda of the Graduate School of Engineering gets his Malaysia project under way.



理工学部共生創造理工学科
戸田 龍樹 教授

昭和59年3月北海道大学水産学部卒業、平成2年3月東京大学大学院農学系研究科博士課程修了(農学博士取得)後、東京大学海洋研究所特別研究員(日本学術振興会)、平成3年4月創価大学工学部講師、平成15年同大教授。

理工学部共生創造理工学科の戸田龍樹教授(工学研究科長)の研究課題「微細藻類の大量培養技術の確立による持続可能な熱帯水産資源生産システムの構築」が、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の国際科学技術共同研究推進事業地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム(SATREPS)の研究領域「生物資源の持続可能な生産・利用に資する研究」に採択され、本年2月よりプロジェクトが本格スタートしました。本研究は、2016年からの5年間にわたってJSTより支援を受け、マレーシア・プトラ大学バイオサイエンス研究所と共同で研究を進めます。戸田教授は本研究を通して、生物多様性の高い熱帯地域に位置するマレーシアにおいて、高付加価値物質を生産可能な微細藻類の屋外大量培養技術の確立を目指し、現地で探索した有用藻類と成長促進作用を持つ天然物質を利用した新たな培養技術を研究開発します。本事業は、科学技術と外交を連携し、相互に発展させる「科学技術外交」強化の一環として、文

部科学省、外務省の支援のもと、JSTと国際協力機構(JICA)が連携して実施するものです。採択にあたって戸田教授は、「マレーシアでは養殖産業の急激な成長により、生物多様性の損失や、生態系の破壊が進んでいます。そこで、これまで有機性廃棄物を排出するだけの養殖産業に対して、廃棄物から栄養類を積極的に回収・循環させ、その栄養塩類から有価物を生産するという持続可能な循環型システムを研究開発します。5年間鋭意努力し、社会実装可能なシステムを作り上げたいと考えております」と語りました。



2月29日、SATREPS共同研究の協定を締結

「勇気の証言—ホロコースト展 アンネ・フランクと杉原千畝の選択」広島展が開催されました！

“The Courage to Remember: The Holocaust 1939-1945 The Bravery of Anne Frank and Chiune Sugihara” exhibition held in Hiroshima Prefecture.

第二次世界大戦終結から70年を機に、ナチス・ドイツのユダヤ人大量虐殺の歴史を振り返り、平和と人権について考える「勇気の証言—ホロコースト展 アンネ・フランクと杉原千畝の選択」の広島展が1月21日、広島県広島市のNTTクレドホールで開催されました。

この展示会は、1994年から2007年に全国73会場を巡回した「勇気の証言—アンネ・フランクとホロコースト展」に続くもので、本学と国際的な人権団体「サイモン・ウィーゼンタール・センター」の共催により、昨年10月には東京都豊島区の東京芸術劇場で開かれ、広島展では約25,000名が来場しました。

展示は「ホロコーストの歴史」、「アンネ・フランクと杉原千畝の選択」、「私からはじまる『人権』」の3

章立てとなっています。ホロコーストの歴史と、外務省の指示に反して約6,000人のユダヤ人らに日本通過を許可する「命のビザ」を発行した日本人外交官・杉原千畝、そして、『アンネの日記』の著者であるユダヤ人の少女アンネ・フランクの生涯を紹介するもの。30歳のヒトラーがユダヤ人排除の計画概要を記したサイン入り書簡のレプリカ(日本初公開)や、杉原氏が直筆で入国許可の条件を記したビザのレプリカ(初公開)などの貴重な資料が公開されました。

なお、4月27日からは創価大学の文系A棟でホロコースト展が開催されます。



「勇気の証言—ホロコースト展
アンネ・フランクと杉原千畝の選択」
【開館時間】4月27日(水)～5月10日(火)
10:00～18:00(27日は16:00～)
※最終受付時間17:30(全日程)
【会場】創価大学文系A棟 1階ロビー
【主催】「勇気の証言—ホロコースト展」実行委員会
【共催】創価大学、サイモン・ウィーゼンタール・センター
【後援】フランス大使館、ドイツ連邦共和国大使館、イスラエル大使館、リトアニア共和国大使館、オランダ王国大使館、ポーランド共和国大使館、アメリカ大使館、駐日欧州連合代表部、国際連合広報センター、NPO 杉原千畝命のビザ
【協力】創価学会平和委員会
【ウェブサイト】<http://www.soka.ac.jp/campuslife/holocaust/>

履修相談から授業の合間の勉強、そして息抜きスペースも満載！

先輩オススメ
キャンパス活用法
大公開!!

キャンパスは快適で便利。
上手に活用して充実の日々を
過ごす方法を先輩に聞いて
みました。

我慢しないで、すぐに相談で きる安心感もうれしい 「保健センター」

意外と知らない人が多いのが保健センター。薬がもらえるので、体調が悪くなったら、すぐに相談しましょう。

勉強、情報収集に必需品の パソコンが充実の3カ所

いつもはSPACEのパソコンを使いますが、使用中なら2階のパソコンルームへ。それでもだめなら、図書館に。図書館は本だけでなくパソコンを使うこともできます。意外と空いているので使える可能性大!

やわらかい陽光が包み込んで くれる「フラワーラウンジ」

勉強に疲れたら女子専用のフラワーラウンジへ。奥のソファで仮眠している人も結構います。つい立があって中が見えないので女子には便利です。

学内のお得な情報が得られる 「SNS」や「メルマガ」

創学サービスのメルマガに登録すると、おにぎり100円フェアやステーキデーなどのお得な情報がもらえます。Twitterなどの創大公式SNSでは、最新ニュースの他、様々な撮影や放映、記事掲載の情報も入手できます!

入学時に苦労するのが、履修科目の選択です。困ったら学生課やキャリアセンターを利用するのがお薦め。将来を見据えたアドバイスをしてくれます。また、授業の合間の勉強にはSPACE。一人でパソコンを使い集中することもできるし、皆でディスカッションするテーブルもあります。私はたまにディズニーアニメなどのDVDを見ながら息抜きすることも。創大キャンパスには、友人と話をしたり、勉強したりできる便利なスペースがたくさんあります。充実したキャンパスライフを送るためにも、自分だけのお気に入りスペースを見つけるのもいいと思いますよ。

キャンパス
MAP運動企画

キャンパス
ライフ編

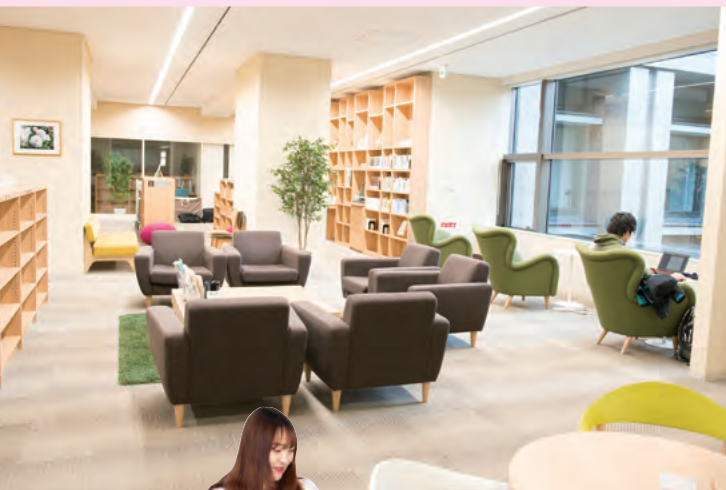
下園 未来さん
Miku Shimozono
経営学部経営学科2年

A SPACeは 創大のシンボルだ!

中央教育棟 2F

利用時間 SPACe 全体平日 9:00-20:30、土曜は 10:00-18:00
※施設毎に利用可能時間が異なります。

総合的な学習サポート施設です。大人数でディスカッションできる円形スペースから人数に左右されないフレキシブルスペース、自習室などがあり、パソコンや視聴用機器、書籍やDVDなども充実。悩みを相談できるコーナーも。



ソファ席やリラクセスチェアのあるリーディングエリア



静かな空間と
友だちと話せる
空間がある
SPACeって
画期的!



ラーニングエリアにあるコロシアムのような円形スペース



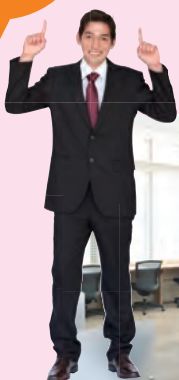
自習室は
本当に集中して
勉強できます!

資料スペースの脇には、プチ休憩にぴったりなクッションが配置



ピアラーニングゾーンのオリジナルテーブルは一人でも仲間とでも使える!

ひとり集中できるパーソナルスペースのCゾーン



先輩オススメ!



● 窪口 修兵さん
法学部法律学科 3年

居心地が良く
みんなの夢を全力で
応援してくれる
キャンパスだよ



● 恵 仁奈さん
創価女子短期大学
英語コミュニケーション学科 2年

キャンパス活用 MAP

スポット編



E 学生ホール売店 品揃えにびっくり!

学生ホール 1F

営業時間 8:30-20:30 (土・日含)
※行事等により、営業時間が変更する場合もあります

食料品から書籍や文房具、衣料品などが揃います。学生目線を重視し、季節に合わせたオススメや新商品、お土産に便利な創大オリジナルスイーツも用意されています。ハラルフードも販売しており、食事面からも留学生をサポートしています。

● リ ジョンジンさん
別科日本語研修課程 (韓国)

至
尽
く
す
こ



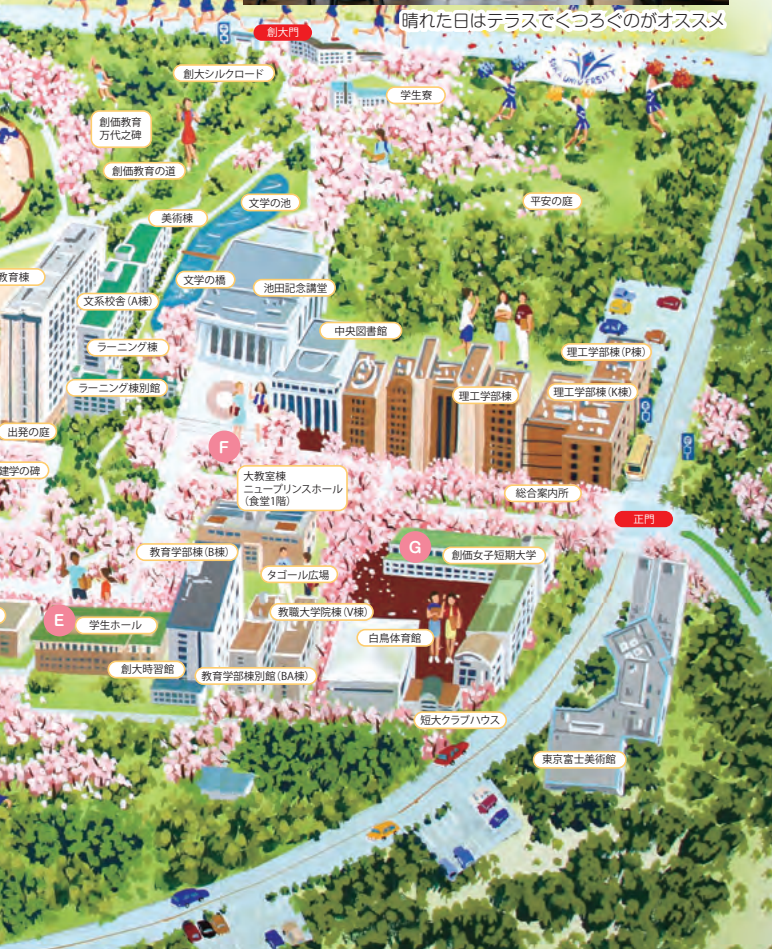
B 勉強に疲れた頭に グランカフェで糖分補給!

中央教育棟 4F
営業時間
平日 10:00-18:00
ラウンジの利用時間は
7:00-21:00 (土・日含)

グランカフェでは、ソフトドリンクやパフェ、ドーナツなどのスイーツや軽食を楽しむことができます。広いラウンジとテラスがあるので、勉強疲れを癒すにはぴったりです。



晴れた日はテラスでくつろぐのがオススメ



C 女子専用スペース、 フラワーラウンジ

中央教育棟 4F
利用時間
月・火・木 8:30-18:20
水・金 8:30-16:45
土・日・祝 閉室

ラウンジにはソファが設置され、女性がつろげる空間となっています。入り口につ立があるので、人目を気にすることはありません。



個性的でかわいいチェアでリラックスもできる!



女子向けの雑誌も置いてあります!

D ランチにおやつに、ATM。 便利なローソン創価大学店

お弁当やファストフード、生活用品、宅配便の取り次ぎ、ATMなどが揃うローソン。お昼頃はレジに長蛇の列が!



中央教育棟 B1F
営業時間 平日 8:30-20:30
(土曜 10:00-16:00 / 日曜は行事による)

さあ、
自分にぴったりの
スペースを
見つけよう!



●ジェンリ オルテガ ベンボウさん
ハバナ大学交換留学生 (キューバ)

上: ローソン目の前の学生ラウンジ「プラット」
下: ローソンの一番人気商品はレジ横!

F シャトルバスで快適通学!

シャトルバスが新宿駅西口とキャンパスを最短40分で結んでいます。利用希望の人は、座席予約や運行ダイヤ、利用方法などを事前に確認してください。



G 短大の白鳥ラウンジ!

創価女子短期大学 3F

インテリアが柔らかいピンクの色調で、とても温かい雰囲気スペース。友だちとのおしゃべりやサークルのミーティングなどに利用できるコミュニケーションスペースです。 ※短大生限定



ハラールフードは常温や冷凍を含めて常に10種類以上のラインナップ



お土産にも人気のあるチョコ菓子「創価のシンフォニー」



メモリーラインシリーズはテストの強い相棒として売れています!

新商品はここでゲット

先輩オススメ
キャンパス活用法
大公開!!

キャンパス
MAP連動企画

学力
アップ編

僕がTOEIC650点から 930点になったワケ。

キャンパスは様々なサポート体制に溢れています。
学生たちの目標や夢を応援する施設や
プログラムの活用法を先輩に聞きました。

入室したとたんに勉強 モードになれる「SPACEの Cゾーン(自習室)」

僕のイチ押し! 静かで緊張感がみなぎっていて、勉強に集中できます。黙々と勉強している他の学生たちの姿もいい刺激になります。

フランクな雰囲気の中でディスカッション能力が身に付く 「イングリッシュフォーラム」

SPACEの一角、留学生のモデレーターを中心に社会問題などをディスカッションする場。気軽に英会話をしたいならチッチャットクラブへ。

朝から勉強するぞ!というときは 「ニュープリンスホール、ニュー ワールの100円朝食」

一人暮らしなので、早起きをしてお得な朝食を食べたというだけでテンションが上がります。食堂は同級生や後輩たちと話をしたいときにも利用しています。

学内の情報をキャッチするなら 「学習支援ポータルサイト」

毎日必ずチェックし、SPACEで開催されているシェアタイムや学内のイベント、プログラム情報を漏らさずキャッチ。勉強や大学生活でわからないことも、メールでどんどん質問しています。

窄口 修兵さん Syuhei Sakoguchi
法学部法律学科3年

世界市民として、世界的問題群の解決に取り組むことのできる国際的な弁護士になりたいとの思いで創大に入学した僕ですが、入学時のTOEICで650点をとってからは、さっぱり点数が伸びなくなりました。周りの仲間が先を行く中、自分はGCP(グローバル・シティズンシップ・プログラム)の授業や課題に一杯一杯となり不安だけが募っていきました。しかし、GCPの先輩、教職員の方々をはじめ、多くの周りの人たちから励ましや勉強への的確なアドバイスをいただいたお陰で、今年の3月に865点、今年1月の試験で930点を獲得して創価大学ダ・ヴィンチ賞を受賞することができました。学外でも、日米学生会議や、ハーバード大学で開催された国際会議(HPAIR)、国連主催の国際会議のメンバーに選抜されました。



検証・スーパーグローバル大学創成支援の進展について

Reviewing the development of the Top Global University Project

2016年度はスーパーグローバル大学創成支援の事業が採択されてより3年目を迎えます。
改めて創大の国際化の流れと、本事業の具体的な取り組みの進捗状況を検証します。

2014
年度

「国際教養学部」の開設

全ての授業を英語で実施
全員を海外留学派遣

2023
年度

人間教育の世界的拠点の構築へ

多様性に富んだキャンパスで育成する
世界市民像とは

スーパーグローバル大学創成支援に採択

知力

- ・基礎学力の養成
- ・分析する力/統合する力
- ・創造する力



- ・高度な外国語運用能力
- ・文化的多様性を認識する知識

グローバル社会を牽引する能力

人間力

- ・信念を実践的に継続する力
- ・他者と協力する力



- ・多様な考えとのコミュニケーションコンセンサス&チームビルディング

2012
年度

経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援 (GGJ) (旧グローバル人材育成推進事業)

グランドデザインの留学派遣・受入
人数目標を4年前倒し、2016年度までに達成することを目指す

2010
年度

創価大学 グランドデザインの策定

「創立50周年までの中長期計画」
国際戦略の1つとして留学派遣・受入人数目標を設定
学生海外留学派遣:年間1,000名
外国人留学生受入:年間500名

建学の精神

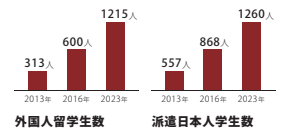
人間教育の最高学府たれ
新しき大文化建設の揺籃たれ
人類の平和を守るフォートレス(要塞)たれ

スーパーグローバル大学としての4つの取り組み



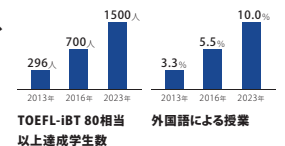
グローバル・モビリティ

学生の海外派遣・受け入れの拡大を通じたキャンパスのグローバル化



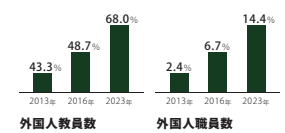
グローバル・ラーニング

「創造的世界市民」を育成する学部・大学院教育プログラムのグローバル化



グローバル・アドミニストレーション

大学の運営体制や決定手続きのグローバル化



グローバル・コア

「グローバル・コア・センター」開設および「平和・世界市民教育研究科」(仮称)設置を通じた人間教育の世界的拠点の形成

次のページでは各取り組みの具体的な事例を紹介します。

Get Global, Be Bold

人間教育の世界的拠点を目指す

創大が知的でグローバルな環境となるだけでなく、創大生のほぼ全員が海外で学ぶ経験を持つことにより、異文化の障壁を無くしてもらいたいと考えています。そのための取り組みとして、海外の協定校は52カ国・地域、179大学にまで拡大し、交換留学先も世界五大大陸に70大学を超えました。短期・長期を問わず、海外留学生には奨学金を給付し、TOEFL-iBTなどの各種外国語試験を学内で実施するなど、留学に関連するサポートだけでも多岐にわたっています。住居環境も日本人学生と外国人留学生が混住する国際学生寮を昨年度に2棟を開設し、来年には新たに2棟を新設。これからも、Get Global, Be Boldのスローガンのもと、世界を舞台に生きる創大生のために本事業を進めていきます。



国際部長
小山内 優 教授 Masaru Osanai



日本を知ったきっかけはアニメ。 多様性溢れる創大での学びが、夢を大きく広げてくれました。

日本に興味を持ったきっかけは、日本のアニメ。その中で空手を駆使するキャラクターに憧れ、私も11歳から空手を習い始めました。その後も日本への興味は尽きることなく、ついにはカイロ大学の日本語学科へ進みました。カイロでは英語で日本語を学んでいましたが、創価大学に来たからは日本語で日本語を学ぶ喜びがあります。授業はもちろん、CPP(カンパセーションパートナープログラム)で出会った創大生とは週1回必ず会って、リアルな日本語を吸収しています。

創大のキャンパスはグローバル化されていて、いろいろな国から来ている留学生と触れ合えることにも驚きました。寮では毎月たこ焼きパーティーをしたり、2016年の元日には大学の教職員の皆さん主催の日本の正月を体験する新年会にも参加したりしました。こうした環境は異文化の理解が進んで楽しく、国を超えた友情に感謝しています。

また宗教上、日本では食べられるものが限られているのですが、学内にある学生ホールでは留学生のためにハラールフードが販売されており、

とても助かっています。こうした細やかな配慮が留学生には非常に嬉しいです。

私が創価大学を選んだ決め手は、創大へ留学経験のある先輩からのアドバイス。「創大生は人にやさしいし、勉強しやすい環境が整っているよ」と教えてくれたのです。実際に来日してから実感した充実したキャンパスライフ。私も帰国したら、必ず後輩たちに創大への留学を薦めます。

来日するまでは、日本人は勤勉で大らかというイメージしかありませんでしたが、実際は近代化された文明、文化を持った国であることを知り大変に驚きました。エジプトにいたときは未知の世界だった日本ですが、実際の日本、日本から見たエジプトは新鮮で、語学以外のことをたくさん学ぶことができました。

将来の夢としては日本語で教える空手指導者や、アニメーターにも興味があります。また、日本語で経済学も勉強したいと思っています。

大好きな日本を知ること、夢が大きく広がりました。



ヤラ アフマドさん Yara Ahmed
国費留学生(カイロ大学)
エジプト出身



世界規模で自分の歩む道、未来が考えられる。 自分の人生が確実にグローバルにつながる。



藤原 幹太さん Kanta Fujiwara
アクセンチュア株式会社
法学部法律学科2016年3月卒業

私は、将来、NGOを支援するコンサルタントになり、活動する人々を支えたいと思っています。そう思ったのは、NGOには「他人のために」と行動する地球市民を増やしていける力があると実感しているからです。そして、地球市民の連帯を大きく広げ、地球的課題の解決に寄与していきたいと思っています。

しかし、初めから将来の明確な目標があったわけではありません。入学前はただ英語力を上げたい、TOEICのスコアを上げたいという気持ちだけでした。それを変化させてくれたのが創大の教員の皆さんであり、プログラムであり、大学の環境でした。

特に「英語」をただ学ぶのではなく、相手とコミュニケーションをとるためのツールとしてのあり方や、そこから、人として生きていくために大事なことは何なのかを教えていただきました。

たとえば、通常の授業に加えて取り組んだ、GCP(グローバル・シティズンシップ・プログラム)では、英語で取り組んだ多くの課題やプレゼン

テーションを通じてアカデミックスキルを磨くことができました。また、キャリアセンター主催の課外講座、GLC(グローバルリーダーカレッジ)では、様々なワークショップを通してリーダーシップを培うことができました。

教員の皆さんからは、常に学生を持つ可能性を信じ、学生の成長のために貢献していこうという気持ちを強く感じました。学生はそうした先生たちの気持ちに応えようと努力し、結果が出ているのだと思います。こうした創大の先生方の「一人に徹して貢献する」という姿勢が、自身の進路を考える上で非常に影響を受けました。

創大には国際基準のプログラムがあり、グローバルなことに挑戦できる環境があります。自分の成長のために、支えてくださる教職員のサポートがあります。やる気になれば、いくらでも自分の人生をグローバルにしていけることができます。英語を駆使して自分が世界とつながる、そんな未来が描けるのが創大だと思います。



最高の英語学習環境に、経済的なサポートも充実。 全員必須の1年間の留学で、将来の可能性も広がった。

「絶対に成長できるよ」。オープンキャンパスで出会った教授のひと言が、新設の国際教養学部に興味を持つきっかけでした。もともと将来は海外で活躍したいと思っていましたが、歴史から文学、経済学、法学などのあらゆる分野の授業が英語で勉強できる環境、世界中から集った優秀な教授陣による質の高い授業、そして、何よりも1年生後期から全員必須の1年間の海外留学が決め手となり、進学を決めました。

留学先は南カリフォルニア大学。世界中から集った学生と、語学の習得に励みました。留学には多額のお金がかかるイメージがあるかもしれませんが、国際教養学部の学費には、留学先の授業料と渡航費も含まれています。また、創大の奨学金制度は非常に充実しており、大学から、多大な経済的バックアップをいただき、本当に心強く感じました。

入学当初、初めて全ての授業を英語で受けた

ときは、ほとんど理解できず、話したいことも話せず、すっかり自信喪失状態に。高校時代から英語力には多少の自信がありましたが、自身の実力のなさにうちのめされました。そうした中で留学に行くのは、正直不安でしたが、必死に食らい付いて努力する中で、格段に力が付き、留学先での英語の授業も楽しめるようになりました。帰国後、TOEICは890点を取得。また、新たな挑戦として2015年11月には文部科学省主催のGo Global Japan「グローバル人材育成フォーラム」の英語プレゼンテーション大会に創大代表として参加し、3位入賞も果たすことができました。

4月から3年生となりますが、ゼミでは経済学を専攻し、4年次での留学や卒業後の海外大学院進学を視野に入れています。いまだ漠然とした将来の夢ですが、世界の平和実現のための研究やプロジェクトにかかわっていけるよう、着実に力を付けていきたいと思っています。



鎌原 一徳さん Kazunori Kamahara
国際教養学部国際教養学科3年



サポートされる側からサポートする側へ。 全ての学生に『スーパーグローバル大学創成支援』の恩恵を受けてほしい。



高橋 有紀さん Aki Takahashi
国際部国際課職員

国際部は、留学を希望する学生や海外からの留学生をサポートする部署です。私自身は、交換留学先とのやりとりや、短期海外研修のスケジュール作り、翻訳や通訳業務などを行っています。

いわば、『スーパーグローバル大学創成支援(以下SGU)』の縁の下での力持ちです。でも、数年前までは、私自身が大学にサポートされる側でした。

もともと英語は得意で、日常会話には不自由しませんでした。もっとレベルの高い英語やアカデミックな英語を身に付けなければと、創大入学後はネイティブの先生の高度な授業を積極的に受講。さらにデラウェア大学留学も経て、英語力は飛躍的にアップし、在学中にTOEICで990点満点を獲得。

いつしか英語を教える側になりたいと思うようになり、ゼミの先生の後押しもあって卒業後はコロンビア大学ティーチャーズカレッジの修士課程に進学することができました。

これらの経験が、今の仕事に役立っていることは言うまでもありません。

私が学生だった頃も創大はグローバル教育を促進していましたが、SGUに採択されてからは、それがさらに加速化されています。生きた英語を学べる環境、留学しやすい環境がどんどん整っています。奨学金制度も充実しています。これらを有効活用して、学生の皆さんには世界に飛び出して行ってほしいと思います。中には、SGUと言われてもピンとこない学生もいるかと思いますが、とても恵まれた環境の大学で学んでいることを知らないでいるのはもったいないことです。是非、関心を持ってほしいですね。

私自身も、今年の夏からミネソタ大学の大学院で博士課程に挑みます。比較国際開発教育を専攻し、留学に行った学生の国際性をどうはかるのか、あるいは国際性の育み方、留学前後のサポートのあり方などについて研究する予定です。4、5年かかるとは思いますが、博士号を取得したら創大に戻り、再びSGUを支える力になりたいと考えています。

2016年4月度の新任役職人事および新任教員紹介

New staff appointments and faculty starting in April 2016

役職人事



副学長
学士課程教育機構長兼任
田中 亮平



副学長補
マリア・グアハルド



副学長補
教育学部長兼任
鈴木 将史



経済学部長
勘坂 純市



法学部長
須藤 悦安



国際教養学部長
高橋 一郎



法務研究科長
副学長・
国家試験研究室長兼任
加賀 譲治



教職研究科長
吉川 成司



教務部長
GCPディレクター兼任
西浦 昭雄

新任教員

経済学部 講師 佐久間 貴之
経営学部 准教授 大場 隆広
講師 マルチュエ・ダービッド
講師 波多野 一真
文学部 助教 山本 美紀
助教 梶川 貴子
教育学部 教授 遠藤 幸彦
准教授 鶴田 真紀
准教授 杉本 久吉
准教授 内藤 耕三
講師 戸田 大樹
理工学部 教授 窪寺 昌一
助教 小山 勇也

助教 池城 和夫
助教 柿崎 正敏
助教 佐藤 大輔
看護学部 助教 鈴木 智子
文学研究科 教授 羽矢 辰夫
准教授 前川 健一
法科大学院 准教授 土平 英俊
創教研 講師 坂口 貴弘
学士課程 准教授 佐藤 広子
ワールドランゲージセンター (WLC)
准教授 ロバート・ハミルトン
講師 マルチェラ・モルガンティ
講師 ロバート・ウォーカー

講師 ナサニエル・フィン
講師 ケリー・ケイ・マキャティ
講師 キャメロン・ハイ
助教 赤間 主計
助教 堀 登起子
助教 リン・ミンイン
教育学習支援センター (CETL)
助教 青木 美寿華
助教 三好 香里
助教 宮原 千咲
日本語・日本文化教育センター
助教 市川 真未

中国研究会訪中団が中国大使館にて帰朝報告

Soka University China Research Delegation announces its return at the Embassy of People's Republic of China

1月13日、中国大使館にて程永華大使夫妻ご出席のもと、「創価大学中国研究会訪中団」の代表が参加し帰朝報告会が行われました。訪中団は、昨年12月3日から8日まで、中国大使館の招待を受け、北京、天津を訪問。本学の交流大学である清華大学、南開大学、北京大学で学生交流を実施しました。報告会では、学生代表3名による帰朝報告に続き、馬場学長が、この度の招待に対する御礼と日中友好への思いを述べました。最後に程大使より、「今回、中国の学生と創大生が交流し、若い方々が中日友好の『金の橋』の意味をかみしめることができたことは、大変に深い意義があります。若い方々がさらに『金の橋』を渡ることができるよう、今後も努力してまいります」と話しました。



第42回創価大学、第30回創価女子短期大学卒業式を盛大に挙

Celebrating the 42nd Soka University and 30th Soka Women's College Graduation Ceremonies

3月18日、第42回創価大学、第30回創価女子短期大学卒業式が本学キャンパスにて盛大に挙行されました。田代理事長による創立者からのメッセージ紹介に続き、学位記等の授与、創立者賞をはじめとした各賞の表彰が行われ

ました。卒業生の代表が抱負を述べた後、馬場学長の告辞に続き、来賓である元国連事務次長チョウドリ博士から祝辞がありました。長谷川常任顧問、原田最高顧問の挨拶の後、学生歌を大合唱して終了しました。



学位記および各賞受賞者

■博士学位記

梶川 貴子	博士(人文学)
長野 純一	博士(工学)
池城 和夫	博士(工学)
小山 勇也	博士(工学)
福崎 由美	博士(工学)
岩田 聖悟	博士(工学)
柿崎 正敏	博士(工学)
佐藤 大輔	博士(工学)
本川 正三	博士(工学)
姚 二今	博士(工学)
秋月 真一	博士(工学)
小山 光彦	博士(工学)

■創立者賞

若林 勇人	経済学部
川畑 暁絵	法学部
林 玲子	現代ビジネス学科

■魯迅青少年文学賞

長岡 幸一	経済学部
岩城 温子	文学部

■インド創価池田女子大学世界友情賞

山下 葉月	経済学部
桑田 玲子	英語コミュニケーション学科

■博士前期課程・修士課程代表

辻塚 秀幸	修士(経済学)
-------	---------

■法科大学院 総代

菅原 麻衣	法務博士
-------	------

■教職大学院 総代

沼田 拓弥	教職修士
-------	------

■学部 総代

岩城 貴子	経済学部
不破 清美	経営学部
杉本 勝	法学部
原 祐里佳	文学部

■マハトマ・ガンジー青年平和賞

安藤 輝	経済学部
松村 真菜	現代ビジネス学科

■氷心青少年文学賞

池之上 清美	法学部
中村 あかり	現代ビジネス学科

■創価大学貢献賞

石黒 正光	文学部
住吉 光恵	経営学部
池田 海登	経済学部

古澤 貴子	教育学部
黒澤 佳子	工学部

■通信教育部 総代

山岡 恵一	法学部
-------	-----

■別科日本語研修課程 総代

Ooi Chermaine Sher Ling	
-------------------------	--

■北京語言大学学位記

渡辺 可奈子	
中磯 克俊	
新保 あずさ	
大浦 菜月	
南部 健人	

堀 夢夏	教育学部
黒川 達也	文学部
根間 翔子	文学部
井上 雄作	経済学部
堀 香織	教育学部
平野 光城	経済学部
岩城 貴子	経済学部
西野 義輝	経済学部
藤本 久美	経済学部
上野 弘明	法学部
福田 美咲	法学部
金 多英	経営学部

田中 敦也	
松山 光一	
西田 有紀	
木崎 広美	
石橋 貴子	
俊成 絢子	

■バックingham大学学位記

吉澤 美香	
三吉 真子	
浅富 華陽子	

豊島 健太	教育学部
高橋 士首	経済学部
若井 美咲	教育学部
高津 和俊	法学部
大高 美紀	文学部
山口 修平	法学部

■香峯賞(学科総代)

田原 良恵	現代ビジネス学科
河合 由美	英語コミュニケーション学科

マレーシア科学大学と 学術交流協定を締結

Academic agreement signed with the University of Science, Malaysia

2月22日、マレーシア科学大学と創価大学の学術交流協定の調印式が本学本部棟会議室において行われ、同大学のオマール・オスマン学長と創価大学の馬場学長が協定書に署名しました。これにより、本学が締結した海外の学術交流校は世界52カ国・地域178大学となりました。同大学は、マレーシアで2番目となる1969年に創立された国立大学です。調印式の席上、オスマン学長は本学との協定に、今後の積極的な学術交流、学生交流への期待を述べました。



短大でグループ学習室が誕生

Rooms and front steps redesigned at Soka Women's College

短大開学30周年を記念して、レインボー階段と短大校舎2階の5つの教室がグループ学習室としてリニューアルされ、卒業式に合わせてお披露目となりました。従来使用していたBig Padに加え、最新の機器を導入。ホワイトボードやプロジェクター、iPadが連動した授業を行うことができ、アクティブラーニングが可能となりました。レインボー階段と2階の5つの教室が改修されたのは開学以来初となります。



留学生“新年会”「New Year Party 2016」を開催

International Students come together for 2016 New Year's Party

新年を日本で迎える留学生や交換教員を対象に、「New Year Party 2016」が1月1日、学内食堂にて開催され、田代理事長、馬場学長、石川短大学長らと共に新年を祝いました。本イベントは、日本のお正月を感じてもらうことを目的として毎年開催され、おせち料理や温かい鍋料理を楽し



みながら、参加者によるアトラクション、くじ引き大会等が行われ、会場は終始盛り上がりました。

第92回箱根駅伝で本学駅伝部の山口修平選手が往路1区を力走!

Soka Ekiden Club runner Shuhei Yamaguchi races through the first section of the 92nd Hakone Ekiden!

1月2日、第92回箱根駅伝(東京箱根間往復大学駅伝競走)に関東学生連合チームの主将として本学陸上競技部駅伝部の山口修平選手(42期生)が出場しました。往路1区(大手町~鶴見)の21.3キロを、区間7位の東洋大学と同タイムの1時間2分15秒(トップと52秒差)で走り抜きまし



た。蒲田の15キロ地点では、ペースを上げて集団の先頭を走り、沿道を大きく沸かせました。

第15回在日留学生音楽コンクールで本学留学生が特別賞を受賞

Soka International student wins special award at the 15th Foreign Student's Music Contest

1月10日、「第15回在日留学生音楽コンクール」が国立オリンピック記念青少年総合センターで開催され、大学院文学研究科教育学専攻修士課程1年の楊陽さんが特別賞(実質2位)に輝きました。個性豊かな19カ国24組の留学生が、各国



の伝統芸能や現代音楽を披露し、中華人民共和国(内モンゴル)出身の楊陽さんは、モンゴル民族の伝統民謡の錫林河(モンゴル語:シリソル)を見事に歌い上げました。

本学国際仏教学高等研究所の辛嶋教授が海外9大学で招聘講演

Professor Seishi Karashima of the Soka International Research Centre for Advanced Buddhology invited to give lectures at nine overseas universities

1月13日(現地時間)、本学国際仏教学高等研究所の辛嶋静志教授が、ベルリン自由大学・孔子学院で“インドと中国の文化的橋としての仏教とヴァルター・リーベンタールの業績”と題し、ドイツ語で招聘講演を行いました。2015年度は、その他、香港大学仏教研究センターや台湾国立清



華大学人文社会学院など、合わせて9大学の招聘を受け、計20回、仏教学に関する講演を行いました。

本学卒業生が「ショパン国際ピアノコンクール in ASIA」で銀賞!

Soka graduate wins silver at the International Chopin Piano Competition in Asia

1月15日、神奈川県川崎市の昭和音楽大学で開催された、「第17回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA」で本学



卒業生の武田和樹さん(経営学部39期)がアマチュアソロAB部門で「銀賞」を受賞。金賞受賞者がいなかった今大会で最高の賞に輝きました。武田さんは、高校一年で難病に指定されている「網膜色素変性症」の診断を受けましたが、練習を重ねて挑戦した初出場の今大会で銀賞を勝ち取りました。

インドのボパール・バルカトゥッラー大学より創立者に名誉文学博士号が授与

Barkatullah University in Bhopal, India awards Honorary Doctorate of Letters to Soka founder

1月22日、インドのボパール・バルカトゥッラー大学から、創立者池田大作先生に名誉文学博士号が授与されました。これは、創立者の教育・文化の発展と世界平和への多大な貢献を讃え贈られたものです。授与式は本部棟で行われ、ムルリ・ダール・ティワリ副総長夫妻ら一行を、本学



の馬場学長、田代理事長、石川短大学長、学生の代表らが歓迎し、馬場学長が代理で受けました。

交換留学生等の修了式を開催

End of Exchange Program Celebrated in Closing Ceremony

1月29日、世界各国の交流大学より創価大学で学んだ交換留学生、アメリカ創価大学(SUA)研修生、特別履修生ら21カ国・地域90名の修了式が、本部棟14階の国際会議場で行われました。修了式では、創立者からのメッセージが紹介され、修了証授与後、修了生代表として、3名の学生が創価大学で学んだ日々を振り返り、今後の決意を込めた挨拶をしました。



本学映画研究会の作品が八王子学生CMコンテストで2位入賞!

Cinema Society's work wins second place at Hachioji Student Commercial Contest

東京の観光地として知られる高尾の魅力をCM作品で伝える「八王子学生CMコンテスト」で、本学映画研究会の作品「忘れぬおもい、高尾」が2位に相当する商工会議所賞を受賞し、1月30日に表彰式が行われました。このコンテストは、全国の学生を対象に、高尾の自慢できるもの、知って



ほしいものなどを題材にした60秒の映像作品が募集されたもので、映画研究会は3度目の挑戦で初入選となりました。

アリシェール・ナワイー生誕575年記念の献花式を開催

Floral tribute to celebrate the 575th anniversary of the birth of Ali-Shir Nava'i

ウズベキスタン共和国の詩人アリシェール・ナワイーの575回目の生誕日を記念し、2月1日、同国のファルフ・トゥルスノフ大使らが来学し、同国カリモフ大統領から創立者に寄贈されたナワイー像に対する献花式を行いました。



献花式では、本学の小山満教授、トゥルスノフ大使、馬場学長より挨拶があり、今後の両国の発展を願いました。

社会人基礎力育成グランプリで創大生が準大賞を受賞!

Soka student wins runner-up award in the Grand Prix for Development of Fundamental Competencies for Working Persons

2月22日に行われた「社会人基礎力育成グランプリ2016全国決勝大会」にて、経済学部・西浦昭雄ゼミが「幸せおすそわけプロジェクトもったいないを行動に、食品ロス削減を目指して」をテーマに発表し、準大賞(第2位)に輝きました。大賞を逃すも、審査員からは「誰もが認める



素晴らしいプロジェクトである。是非とも世界まで広げていってほしい」との講評が寄せられるなど、高い評価を集めました。

台湾・中国文化大学で第10回池田大作平和思想研究フォーラムが開催

10th Daisaku Ikeda Peace Ideals Research Forum held at Chinese Culture University in Taiwan

「第10回池田大作平和思想研究フォーラム」が中国文化大学で3月2日に開催され、本学の馬場学長など約300名が参加しました。中国文化大学の林彩梅元学長は、同大学池田大作研究センターのこれまでの活動や、同研究センターが本学創立者の対談集をこれまでに30冊翻訳し出版したこと等を紹介しました。また開幕式の席上、李天任



学長から本学創立者への感謝状が授与されました。

シンガポール経営大学と学術交流協定を締結

Academic Partnership Signed with Singapore Management University

3月4日、馬場学長と高木功日本語日本文化センター長はシンガポール経営大学を訪れ、学術交流協定に調印。同大学ウィー・キム・ウィー・センターが開催した国際会議の席上、各国研究者や本学の卒業生等150人が参加し、調印式が行われました。これにより、本学が締結した海外の



学術交流校は世界52カ国・地域179大学となりました。同校は200以上の大学と交流を行う同国内トップ3の大学です。

第16回創価大学 ダ・ヴィンチ賞 受賞者

Winners of the 16th SOKA University Da Vinci Award

「創価大学ダ・ヴィンチ賞」は、①学生の創造性と勉学意欲の向上、②本学の“勉学重視”の方針の徹底、③幅広い分野の教養をそなえた全人間の育成を図ることを目的として制定されました。2015年度の受賞者を紹介します。(敬称略、学年は2015年度のもの)

学業において 優秀な成果

●TOEIC-IPテスト年間最高得点者 ●英語検定高得点者(TOEFL PBT600点以上、CBT250点以上、iBT100点以上、TOEIC920点以上、IELTS7.0以上、英検1級合格、国連英検 特A級合格) ●その他、難関の語学試験合格者(通訳案内士国家試験合格、中国語HSK(漢語水平考試)新試験で6級合格のうち、190点以上等) ●全国あるいは国際規模の学会や団体からの受賞、または国際的に評価されている学術専門誌への論文掲載など、ゼミナール・研究室における研究や卒業研究等の内容の卓越性が対外的に認められた者 ●学部留学生の4年生のうちGPA最高位の者 ●全国あるいは国際規模の団体や学会からの受賞、また、そうした団体等が主催する大会、競技会などで卓越した成績を上げるなど、社会的に高い評価を得たクラブ・団体や個人 ●スピーチ・コンテスト等の優勝者 ●社会貢献が顕著な者・団体

岡田 理志 文学部 人間学科4年	大川原 華織 国際教養学部 国際教養学科2年	山守 正明 経済学部 経済学科4年	安江 和美 法学部 法律学科4年	井上 光司 経済学部 経済学科4年
シオザワ ルーカス 幸一 理工学部 情報システム工学科1年	鶴飼 伸一 経済学部 経済学科4年	小山 航平 経済学部 経済学科4年	黒崎 あい 経営学部 経営学科4年	吉村 瞳 経済学部 経済学科4年
新田 博司 文学部 人間学科4年	グロリア ミスコ シュタイナー 国際教養学部 国際教養学科2年	西仲 幸太 工学部 情報システム工学科4年	小坂 建太郎 工学部 環境共生工学科4年	田中 光男 教育学部 児童教育学科4年
瀬野 千晶 教育学部 児童教育学科4年	木村 佳樹 工学部 環境共生工学科4年	加藤 真一郎 国際教養学部 国際教養学科2年	細野 若菜 法学部 法律学科4年	北村 正恵 工学部 環境共生工学科4年
深沢 早紀 文学部 人間学科4年	市間 力 経営学部 経営学科4年	中前 弘 教育学部 教育学科4年	木村 和則 経営学部 経営学科4年	渡部 萌衣 法学部 法律学科4年
加藤 孝征 経済学部 経済学科1年	上原 チェルシー 文学部 人間学科4年	上原 ジャズミン 経済学部 経済学科4年	石坂 理枝子 文学研究科 教育学専攻 博士前期課程1年	紅野 晴香 法学部 法律学科3年
鈴木 広志 国際教養学部 国際教養学科2年	永峰 正一 経営学部 経営学科1年	窄口 修兵 法学部 法律学科2年	海野 美香子 法学部 法律学科4年	廣瀬 文人 法学部 法律学科1年
宮本 尚子 経済学部 経済学科3年	武本 貴史 法学部 法律学科1年	村田 誠一 経済学部 経済学科4年	山本 秀美 文学部 人間学科3年	山崎 真理子 文学部 人間学科4年
柿本 梨名 経済学部 経済学科4年	小野 有紀子 文学部 人間学科4年	田中 敦也 文学部 人間学科4年	隅田 智美 教育学部 児童教育学科4年	鈴木 峰香 経営学部 経営学科1年
時沢 清美 文学部 人間学科3年	黄 龍 経済学部 経済学科4年	全 寶彌 文学部 人間学科4年	町田 崇 文学部 人間学科3年	渡邊 可奈子 文学部 人間学科4年
向井 久美子 経済学部 経済学科4年	手塚 伸子 文学部 人間学科2年	吉村 香織 文学部 人間学科3年	長井 裕子 文学部 人間学科3年	平井 広子 文学部 人間学科4年
内田 典人 文学部 人間学科3年	川西 愛美 文学部 人間学科4年	川上 美喜 文学部 人間学科3年	鷲尾 美輝 文学部 人間学科3年	山内 明美 文学部 人間学科4年
南部 健人 文学部 人間学科4年	王安 娜 文学部 人間学科4年	平田 愛実 文学部 人間学科3年	武田 玲音 文学部 人間学科3年	桜尾 智子 文学部 人間学科4年
飯野 優理 文学部 人間学科4年	加藤 結衣 経済学部 経済学科4年	神田 梨奈 文学部 人間学科4年	内山 幸子 経営学部 経営学科3年	足立 真優 文学部 人間学科3年
栗本 流音 文学部 人間学科4年	山崎 泰斗 法学部 法律学科4年	若林 勇人 経済学部 経済学科4年	新久 章 経済学部 経済学科4年	菅井 洋太 工学研究科環境共生工学専攻 博士前期課程2年
青木 秀伸 工学研究科 情報システム工学専攻 博士前期課程2年	岸 正敏 工学研究科環境共生工学専攻 博士後期課程1年	酒井 博之 工学研究科 環境共生工学専攻 博士前期課程2年	三浦 太一 工学研究科 生命情報工学専攻 博士後期課程3年	徐 佑澤 経営学部 経営学科4年
小椋 忠志 工学研究科 情報システム工学専攻 博士前期課程2年	西浦ゼミ41・42期生 経済学部 経済学科	西浦ゼミ42・43期生 経済学部 経済学科	チームSOBITS 理工学部 情報システム工学科	小川 優 法学部 法律学科4年
中野 華織 文学部 人間学科4年	東條 美紀子 法学部 法律学科3年	池田 奈月子 法学部 法律学科2年	柴崎 美恵子 国際教養学部 国際教養学科2年	藤原 幹太 法学部 法律学科4年
高橋 士音 経済学部 経済学科4年	中山 雅一 法学部 法律学科4年	河村 幸広 文学部 人間学科4年		

難関の試験に合格

●難関といわれる資格試験等に現役合格した者(司法試験、公認会計士試験、税理士試験、外交官試験、国家公務員総合職試験に合格した者。特に難関とされる都道府県、政令指定都市の地方公務員上級試験および教員採用試験に合格した者。その他の資格試験、公務員採用試験等の合格者)

島津 光 経済学部 経済学科4年	梅木 拓哉 経済学部 経済学科4年	土屋 進一 経営学部 経営学科2年	中込 高志 文学部 人間学科4年	吉澤 美香 文学部 人間学科4年
中村 光生 教育学部 教育学科4年	住廣 清美 教育学部 教育学科4年	三上 広介 工学部 生命情報工学科4年	福澤 伸之介 工学部 生命情報工学科4年	川畑 暁絵 法学部 法律学科4年
上野 弘明 法学部 法律学科4年	佐伯 北斗 法学部 法律学科4年	奥田 健 経済学部 経済学科4年	玉井 香織 文学部 人間学科4年	日永田 俊成 工学部 情報システム工学科4年
山根 慧史 工学部 情報システム工学科4年	桜尾 正之 法学部 法律学科4年	中村 光恵 法学部 法律学科4年	前田 司 経済学部 経済学科4年	黒沼 渚 文学部 人間学科4年
瀬尾 順子 文学部 人間学科4年	原 祐里佳 文学部 人間学科4年	石阪 かおり 法学部 法律学科4年	浜口 浩気 法学部 法律学科4年	藤澤 栄美子 法学部 法律学科4年
福田 美咲 法学部 法律学科4年	今野 大哉 経済学部 経済学科4年	安藤 良美 文学部 人間学科4年	藤山 苑子 法学部 法律学科4年	碓野 栄美 経済学部 経済学科4年
中村 良雄 経済学部 経済学科4年	寺西 和代 法学部 法律学科4年	長嶋 光一 経営学部 経営学科4年	瀬崎 康広 文学研究科 教育学専攻 博士前期課程2年	岡井 明美 法学部 法律学科4年
田丸 大二郎 法学部 法律学科4年	山下 翔子 文学部 人間学科4年			

企業の就職活動で特筆すべき成果

●企業就職を目指した活動で特筆すべき努力・成果がみられた者(「フォーチュン・グローバル500」にランクインした企業のうち、難関の総合職・専門職での採用試験に合格した者。社会的評価や競争率が高い「新規開拓企業」「未上場企業」「地方優良企業(Uターン就職)」での採用試験に合格した者)

岩城 温子 文学部 人間学科4年	明石 大樹 経済学部 経済学科4年	高橋 良美 経営学部 経営学科4年	有本 昌美 法学部 法律学科4年	高橋 士音 経済学部 経済学科4年
木原 浩一 経済学部 経済学科4年	南 藍 経済学部 経済学科4年	岩城 貴子 経済学部 経済学科4年	阿部 未怜 法学部 法律学科4年	梶原 英生 経済学部 経済学科4年
坂口 清久 経済学部 経済学科4年	亀重 光一 経済学部 経済学科4年	齋藤 憂太郎 経済学部 経済学科4年	田島 正之 経済学部 経済学科4年	高木 晋一 経済学部 経済学科4年
池田 華陽 文学部 人間学科4年	坂井 ねね 経営学部 経営学科4年	楠 和利 経営学部 経営学科4年	京 貴広 経済学部 経済学科4年	金田 大樹 工学部 情報システム工学科4年
横山 晃史 経済学部 経済学科4年	二町 誠 経済学部 経済学科4年	永田 大樹 工学部 情報システム工学科4年	淵上 貢記 工学研究科 情報システム工学専攻 博士前期課程2年	城尾 弘美 工学研究科 環境共生工学専攻 博士前期課程2年
齋藤 華世 経済学部 経済学科4年	高原 行平 工学研究科 情報システム工学専攻 博士前期課程2年	田中美帆 経営学部 経営学科4年	瀧名 亮斗 経済学部 経済学科4年	西野 義輝 経済学部 経済学科4年
青木 陽子 経済学部 経済学科4年	河野 真希 経済学部 経済学科4年	小松 明美 経営学部 経営学科4年	伴 さゆり 工学研究科 情報システム工学専攻 博士前期課程2年	藤本 久美 経済学部 経済学科4年
和田 宏明 経営学部 経営学科4年	石津 愛美 経済学部 経済学科4年	肥後 佑樹 経営学部 経営学科4年	山下 葉月 経済学部 経済学科4年	長岡 幸一 経済学部 経済学科4年
市丸 勝也 法学部 法律学科4年	小林 圭介 法学部 法律学科4年	田中 哲也 経済学部 経済学科4年	河村 幸広 文学部 人間学科4年	善利 洋 経営学部 経営学科4年
蚊野 美咲 法学部 法律学科4年	正司 貴久 法学部 法律学科4年	神戸 幸一 法学部 法律学科4年	溝口 裕太 文学部 人間学科4年	檜山 直美 法学部 法律学科4年
鈴木 時光 経済学部 経済学科4年	松村 一希 法学部 法律学科4年	安 秀正 経済学部 経済学科4年	菅野 光博 工学研究科 情報システム工学専攻 博士前期課程2年	田口 有悟 工学研究科 情報システム工学専攻 博士前期課程2年
藤野 修平 工学研究科 情報システム工学専攻 博士前期課程2年	橋本 伸之 工学研究科 生命情報工学科専攻 博士前期課程2年	中根 正和 経営学部 経営学科4年	小谷 広美 教育学部 児童教育学科4年	松林 愛 法学部 法律学科4年
長谷 亮 工学研究科 情報システム工学専攻 博士前期課程2年	松永 亮 経営学部 経営学科4年	藤原 幹太 法学部 法律学科4年	大槻 由美 経済学部 経済学科4年	清住 弘人 経営学部 経営学科4年
日下 堯 経営学部 経営学科4年	寺島 晃己 工学部 情報システム工学科4年	砂川 旺時朗 法学部 法律学科4年	上條 賢司 文学部 人間学科4年	神谷 貴明 経済学部 経済学科4年
窪内 健真 文学部 人間学科4年	阿部 実音 経済学部 経済学科4年	前原 誠一 工学研究科 情報システム工学専攻 博士前期課程2年	山下 正明 法学部 法律学科4年	酒井 美里 文学部 人間学科4年
藤井 美優紀 法学部 法律学科4年	小林 光恵 法学部 法律学科4年	松崎 弘樹 法学部 法律学科4年	藤森 麻友 文学部 人間学科4年	中本 あずさ 経営学部 経営学科4年

金森 高志 経営学部 経営学科4年	七海 智貴 経営学部 経営学科4年	井上 由美子 経営学部 経営学科4年	菅原 美緒 経営学部 経営学科4年	谷口 和美 工学部 生命情報工学科4年
中山 雅一 法学部 法律学科4年	池之上 清美 法学部 法律学科4年	宮武 正之 法学部 法律学科4年	川村 正治 法学部 法律学科4年	岸 香織 経済学部 経済学科4年
金澤 雄一 経済学部 経済学科4年	高嶋 和代 経済学部 経済学科4年	大泉 輝明 経済学部 経済学科4年	安藤 輝 経済学部 経済学科4年	清水 綾佳 経済学部 経済学科4年
平野 光城 経済学部 経済学科4年	重富 由貴 経済学部 経済学科4年	橋本 万葉 経済学部 経済学科4年	原田 雄太 経営学部 経営学科4年	吉川 幹弘 法学部 法律学科4年
五十嵐 未来 経済学部 経済学科4年	山口 桂子 経済学部 経済学科4年	原口 那津子 法学部 法律学科4年	島田 学 工学研究科 環境共生工学専攻 博士前期課程2年	藤原 良恵 文学部 人間学科4年
船場 春香 経営学部 経営学科4年	守山 蓮 経営学部 経営学科4年	田畑 元 法学部 法律学科4年	須田 賢太 法学部 法律学科4年	伊藤 優樹 経済学部 経済学科4年
上瀬 創一 経済学部 経済学科4年	三ツ股 龍平 文学部 人間学科4年	江幡 みなみ 経営学部 経営学科4年	中川 要 工学部 情報システム工学科4年	青木 秀伸 工学研究科情報システム工学専攻 博士前期課程2年

**第7回シュリーマン賞
38名**

この賞は、国際性豊かな世界市民の輩出を目指して設置されました。夢を実現するために、類いまれな語学の才能を発揮したシュリーマンのように、世界に羽ばたく創大生の語学習得の成果を顕彰するものです。

第8回創価大学女子短期大学 マリー・キュリー賞 受賞者

様々な分野において短大建設に大きく貢献し、模範の姿を示した代表15名に授与されました。

佐竹 昌美 現代ビジネス学科 資格試験において優秀な成果	下地 陽子 現代ビジネス学科 MOS世界学生大会ワード部門 第3位受賞	宮崎 美幸 現代ビジネス学科 就職先新規開拓	中川 明美 現代ビジネス学科 クラブ連合会運営委員長として 短大建設に貢献	町田 紀子 現代ビジネス学科 開学30周年記念展示総括として 短大建設に貢献
中島 里奈 現代ビジネス学科 就職先新規開拓	竹内 和美 現代ビジネス学科 スチューデントリーダーとして 短大建設に貢献	原田 朋実 現代ビジネス学科 就職先新規開拓	行田 清美 英語コミュニケーション学科 学生会執行委員長として 短大建設に貢献	大川 久美子 英語コミュニケーション学科 白鳥祭実行委員として 短大建設に貢献
高橋 杏奈 英語コミュニケーション学科 白鳥祭実行委員長として 短大建設に貢献	田邊 笑 英語コミュニケーション学科 受験部部长として 進学推進に貢献	鈴木 真優 英語コミュニケーション学科 就職先新規開拓	須田 彩美 英語コミュニケーション学科 遠距離通学の中、 学業との両立	鈴木 夏歩 英語コミュニケーション学科 内閣府主催の日韓青年親善 交流事業参加

2016年度学生団体リーダーを紹介します

創価大学

創価大学を支える学生自治会、学友会、男女学生寮、友城会(学生防犯パトロール隊)の各リーダーです。学生自治会中央執行委員長の田村幸慈さんは「創価大学は、学生一人ひとりの夢が実現する大学です。"何のため"を忘れずに創大建設に邁進していきます!」と決意を語りました。

●創大学生団体リーダー
学生自治会中央執行委員長／田村幸慈さん、女子責任者／関谷美幸さん
学友会運営委員長／谷口優和さん、女子責任者／吉岡舞有さん
男子寮全寮代表／手塚幸一さん、女子寮全寮代表／藤本明美さん
友城会／村田正樹さん

創価女子短期大学

開学30周年を記念してリニューアルした創価女子短期大学で短大建設に励む学生会、クラブ連合会、学生寮のリーダーたち。学生会執行委員長の川井麻海唯さんは、「白鳥姉妹で朗らかに、短大の新たな歴史を拓いてまいります!」と語りました。



左から学友寮寮長の古武家優佳さん、朝風寮寮長の杉明美さん、学生会執行委員長の川井麻海唯さん、クラブ連合会運営委員長の櫻井美和さん

新女子寮(国際学生寮)の起工式が1月8日に行われました



新女子寮完成予想図



田代理事長による挨拶



起工式に参加した女子寮生の代表

新女子寮(国際学生寮)
イメージ映像は下の
二次元コードから!



この新女子寮は、本学創立45周年記念事業の一環として、また一昨年(2014年)採択された文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」の構想実現に向け、外国人留学生の受け入れを促進し、寮内での異文化交流の場を広げることを目的として建設され、竣工は2017年2月の予定です。創大門の東側、緑豊かな丘に地上6階建て鉄筋コンクリート造の寮が建設されます。学生の生活スペースとなる各寮室は、8人を1ユニットとして、18ユニットで、144人を収容します。机やベッド、収納家具などを備えた個室を8室と、中央にはキッチン・ダイニングを配置することで、同じユニットの学生8名が、プライバシーを確保しつつ、食事や団らんのときなど和やかに交流しながら、一緒に生活できるようになります。国際学生寮は、日本全国・世界各地から集まった多様な価値観を持つ学生が、共に学び生活することにより、文化や言葉の壁を乗り越え、グローバル社会で活躍するために必要な能力を互いに育むことを目指す施設です。

健康を 科学する

第8回 五月病

看護学部

本田 優子 教授
専門は精神看護学



新しい生活環境では、心も体も過度に疲労しています。
心身の不調を感じたら早めに対処していきましょう。

1. 心身の不調?

大学入学によって、初めて一人暮らしを始める人の中には、体調を崩す人も多いようです。馴染みのない人に囲まれて、一から人間関係を作っていく気苦労、自分で生活管理を行うなど、人によっては大変なストレスでもあります。1、2ヶ月は緊張感や意欲もあり元気でも、5、6月になると心身に不調を来す場合があります。これらは、いわゆる五月病や六月病といわれる適応障害や気分障害と考えられています。

3. 気づかれにくいうつ病

気分障害は、うつ病が代表的ですが、男性よりも女性に多く見られます。症状としては、気分の落ち込み、疲労感や集中力低下、眠りにつきにくい、早朝に目覚める、イライラや強い自責感等も起こります。自力での気分のコントロールは難しいため、早期に精神科クリニック等の受診が望まれます。現代は、仮面うつ病といわれる身体症状が前面に出て抑うつ気分が目立たないために、周囲に気づかれにくいうつ病も多くあります。

2. 起こりやすいストレス反応

適応障害は環境の変化についていけないことで起こる精神障害ですが、ストレス反応とも呼ばれ、女性に比べ男性に多い傾向にあります。症状は、身体面での疲れや息苦しさ、体の痛み、めまいなど、心理面は集中困難、希望喪失、人に会いたくない、無気力など、行動面は引きこもりや拒食、睡眠障害、過食・多弁など過活動、飲酒・喫煙の過剰などがあります。いずれにしても何とか適応しようとする正常な反応でもあります。

4. 早めの受診で安心を!

これらの障害は、過剰なストレスや脳内神経伝達物質の変調によって起こるため、決して自分を責めずに、身近な人に相談してほしいと思います。そして内服薬の服用によって、早くつらい気分から抜け出し熟睡できるため、ためらわずに医療機関を受診してください。大切なことは周囲の人が早く異変に気づき声を掛け、つらい気持ちに寄り添うことと、必ず良くなることを信じて見守ってあげることです。ただ、励ましや期待は本人にとってプレッシャーになるため控えましょう。

OPEN CAMPUS 2016

学部・学科の学びを体験できる体験授業や学生に直接質問ができる相談コーナー、学生ガイドが案内しながら広大なキャンパスをまわるバスツアー、池田記念講堂で開催される歓迎フェスティバル、他にも予備校講師による入試問題「傾向と対策」講座（英語・国語・数学）、入試ガイダンスなど多彩なプログラムを用意しています。皆様のご参加お待ちしております！

創大で、あなたの未来の姿を発見してください!!



創大ライフナビ



キャンパスバスツアー

参加者登録で記念品プレゼント

オープンキャンパス当日、参加者登録をすると創価大学オリジナルの素敵な記念品をプレゼント!



歓迎フェスティバル



相談コーナー

2016

5月3日 火 祝
4日 水 祝

7月30日 土
31日 日

8月21日 日

2017

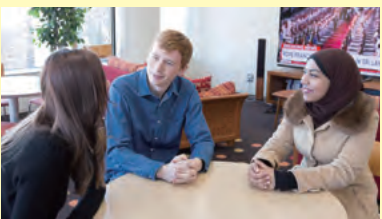
3月20日 月 祝

開催時間
10:00~
16:00 (予定)

※創価女子短期大学も
同時開催!



体験授業



留学生スタッフとの交流

受験生キャンパスツアー

(対象: 高校生、受験生、小中学生 及びその保護者)

オープンキャンパスに参加できない方を、個別に案内する「受験生キャンパスツアー」を実施しています。この学部について知りたい! 図書館が見たい! など、できる限り要望にお応えします。月~金曜日の9時30分~17時、土曜日の9時30分~12時の時間帯で行っています。ツアーは、1週間前までにご予約ください。カートで学内を走ることもできます。申し込みは創価大学のホームページから。



ツアー用カート

創大公式 SNS で最新ニュースをゲット!

ニュースをはじめ、学生、教員またはキャンパスが登場する新聞やテレビ、ラジオの情報などが Facebook、Twitter、Line で入手できます! また創大動画チャンネルでは、最新ニュースや SUN の企画動画が、communico ではみんなの写真や動画をシェアできます!



“創価大学イメージ動画”
創大動画チャンネルでは是非ご覧ください

「創大バーチャルツアー」絶賛公開中!

本学ホームページ上で公開されている「創大バーチャルツアー」は、2.5億画素から最大40億画素の高画質映像で空間を再現。見る人がまるで現地を訪れたかのような疑似体験をすることができます。また、創大動画チャンネルでは、このバーチャルツアーの動画をご覧いただけます。



360度の全地球型の映像コンテンツ

動画は下の
二次元コードから!



Campus Academic Visit

第1回 / 9月19日 月 祝 実際の授業を体験できる「Campus Academic Visit」を開催。是非体験ください!

第2回 / 9月22日 木 祝

詳細は
WEBから

創価大学 Campus Academic Visit で検索!

編集部からのお知らせ

編集部では、読者の皆様の声を募集しています。これからも、充実した魅力ある誌面づくりに努めてまいりますので、何卒よろしくお願いたします。

FAX: 042-691-9300 E-mail: sun@soka.ac.jp